

| | |
|-------------------|-------------------------------|
| 氏名 (法人にあっては名称) | 株式会社エネット |
| 住所 | 東京都港区芝公園2丁目6番3号 芝公園フロントタワー19F |

| | | | |
|---|---|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 自社等発電所(*1)の有無 | 有 | | |
| 電気事業の概要 | <p>◆電気小売事業及び電源調達について LNG(液化天然ガス)発電をはじめ、太陽光・水力・バイオマス・風力発電といった再生可能エネルギーも積極的に調達し、環境負荷の低い安定した電気を全国の皆様に供給しております。</p> <p>◆付加価値サービスの提供 電気のCO₂排出量低減メニューEnneGreenや、AIを活用した省エネルギーサービスEnneteyeをはじめとした付加価値サービスを提供し、お客さまの事業活動に伴うCO₂排出量の低減や施設の省エネルギーに対するニーズにお応えしています。</p> | | |
| 電気の供給における温室効果ガスの排出状況 | 年度 | 基礎二酸化炭素排出量 | 把握率 |
| | 前年度実績(2022年度) | 45 (千t-CO ₂) | 92.20 (%) |
| 電気の供給における温室効果ガスの排出量の抑制に関する措置の実施状況 | 年度 | 基礎排出係数(*2) | 調整後排出係数(*3) |
| | 前年度目標(2022年度) | 0.404以下 (kg-CO ₂ /kWh) | 0.360以下 (kg-CO ₂ /kWh) |
| | 前年度実績(2022年度) | 0.406 (kg-CO ₂ /kWh) | 0.335 (kg-CO ₂ /kWh) |
| | (措置の実施状況) | | |
| LNGや再生可能エネルギーなど環境負荷の低い電源調達を積極的に行っているものの、調達状況等の変化により基礎排出係数については上昇しました。一方、電気のCO ₂ 排出量低減メニューEnneGreenの積極的な販売等により非化石証書の調達を拡大し、調整後排出係数の低減を実現しました。 | | | |

*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。
 *2 基礎排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量(基礎二酸化炭素排出量)を市内への電気の供給量(電気供給量)で除したものをいう。
 *3 調整後排出係数とは、基礎二酸化炭素排出量に固定価格買取調整二酸化炭素排出量を足したのものから、電気事業者が排出量調整無効化した国内及び海外認証排出削減量等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

| | | | |
|--|--|------------------|------------------|
| 電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置の実施状況 | 自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置の実施状況 | | |
| | 年 度 | 再生可能エネルギー発電量(*4) | 再生可能エネルギー導入率(*5) |
| | 前年度目標 (2022年度) | 0 (千kWh) | 0.00 (%) |
| | 前年度実績 (2022年度) | 0 (千kWh) | 0.00 (%) |
| | (措置の実施状況) | | |
| 調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置の実施状況 | 自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合に変化はありませんでしたが、EnneGreenの販売に積極的に取り組むとともに、太陽光・水力・バイオマス・風力発電といった再生可能エネルギーの調達に努めました。 | | |
| | 年 度 | 環境価値の確保量(*6) | 環境価値の確保率(*7) |
| | 前年度目標 (2022年度) | 26,700 (千kWh) | 9.12程度 (%) |
| | 前年度実績 (2022年度) | 10,700 (千kWh) | 9.64 (%) |
| | (措置の実施状況) | | |
| 電気の供給における未利用エネルギー(*8)による発電量の割合の拡大に関する措置の実施状況 | EnneGreenの販売に積極的に取り組むとともに、太陽光・水力・バイオマス・風力発電といった再生可能エネルギーの調達に努めました。広島市内への供給電力量が減少したため確保量は下がりましたが、確保率は向上しました。 | | |
| | 清掃工場等の廃棄物発電からの電力を積極的に調達するなど、未利用エネルギー等による発電量の割合の拡大に努めました。 | | |
| 火力発電所における熱効率の向上を図るための措置の実施状況 | <p>■主力LNG（液化天然ガス）発電所においては、最新鋭のコンバインドサイクル方式を用いることにより高い熱効率を実現しています。</p> <p>■自社等火力発電所においては、部分負荷運転を極力回避するなど、運用面でも工夫することにより熱効率の向上に努めました。</p> <p>■熱効率の高いコージェネレーション発電設備からの余剰電力を調達するなど、熱効率の向上に取り組みました。</p> | | |
| 本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組の実施状況 | <p>■非化石証書を活用し、通常メニューよりもCO₂排出量を抑えたサービス（EnneGreen）をご提供することで、お客さまの再生可能エネルギー調達やCO₂排出量の低減をサポートします。</p> <p>■お客さま施設の電力データをスマートメーターを通じて自動的に収集し、AIを活用して解析、問題点の抽出や省エネ方法のレポートをお届けするサービス（Enneteye）をご提供し、お客さまの環境保全ニーズを、省エネを通じて強力に</p> | | |
| その他の地球温暖化の防止に貢献する取組の実施状況 | <p>事業活動におけるエネルギー、資源の有効利用に努めます。具体的には以下の取り組みを実施します。</p> <p>■夏季の軽装化や照明用の電気の節約等の施策</p> <p>■エネット本社が使用する電気は、実質CO₂排出量ゼロの電力供給を実現しました。</p> | | |

*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー（太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの）による発電量のうち市内分をいう。

*5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分で除したものをいう。

*6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。

*7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分で除したものをいう。

*8 未利用エネルギーとは、発電に利用するエネルギーのうち、工場の廃熱又は排圧、廃棄物（バイオマスを除く）の燃焼熱、超高圧地中送電線からの廃熱、変電所の廃熱及び高炉ガスその他の副生ガス等のエネルギーをいう。